



【玉造稻荷神社 豊臣秀頼像】

大坂城「三の丸」跡。



【秀頼奉納の鳥居】

阪神淡路大震災で損壊した。



【玉造黒門瓜発祥の地】

戦前まで広大な瓜畑であった。



【伊勢迄歩講】の起点

現在も「伊勢迄歩講」は続いている。  
12月28日に出発し、初日の出を拝む。



【利休の井戸】

この近くに千利休の屋敷があり、  
利休はこの井戸水を好んだ。



【「秋田實」笑魂碑】

初の漫才作者。「笑い」の研究に  
生涯を費やした。



【聖マリア大聖堂】

細川ガラシャ・高山右近の像が建つ。



【越中井】

細川忠興邸跡。細川ガラシャ終焉の地。



【三光神社】



戦災で損壊した鳥居の一部を保存。  
「国家安泰平和祈願」と刻まれている。  
住民の平和への願いである。



【真田山陸軍墓地】

約5300基の墓石。ほとんどが日露戦争までの戦死者。  
ドイツ軍、清国の捕虜の墓石もある。戦争による犠牲者のほんの一例  
であるが、その墓石の多さに絶句する。



【真田の抜け穴】

大坂城から続いていると伝わる「抜け穴」。



【「心眼寺」真田丸跡】



【真田幸村墓地】



【京都見廻り組】

桂早之助・渡辺吉太郎の墓。  
坂本龍馬を暗殺した人物と言われている。



【「真田丸顕彰碑」推定地】

明星高校グラウンド横。  
四国で発見された古地図から推定された。



【圓珠院】

国学の祖「契沖」が51歳から62歳まで住み『万葉代匠記』を記した。境内に「契沖」の墓がある。



【「近松門左衛門」墓地】

『曾根崎心中』など市井の事件を題材とした世話物で「浄瑠璃」を創始した。

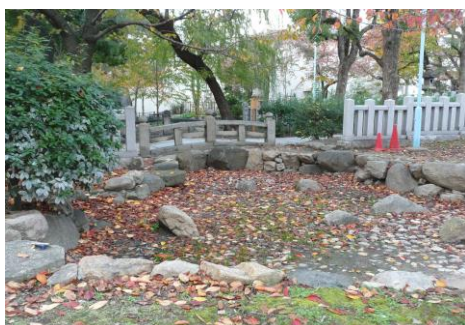


【高津の宮】

仁徳天皇は、この地から庶民の暮らしを眺めたとき、炊事の煙が全く上がっていないことから、民の暮らしは貧しいに違いないと考え、三年間の免税を行い、民の暮らしは豊かになったと伝わっている。



【仁徳天皇の逸話を伝える】



【「道頓堀」の源泉と言われる】

ここから流れている川を拡張したのが道頓堀とする説がある。



【常国寺「梶井基次郎」墓地】

小説『檸檬』にちなみ、今も墓石に「レモン」のお供えが途絶えることはない。  
近畿大学泉州高等学校「地歴部」

